

拠出金名: アジア太平洋知的交流促進計画 (APAP)

| | | | | | |
|---|---|---------------------------|----------------|-------------------------|----------|
| 分担金・義務的拠出金の有無 | | 有(所管官庁) | | 無 | |
| 当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額 | | | | 35,017千円 | |
| 国際機関等名 | アジア太平洋知的交流促進計画運営委員会 (英文名称・略称) Asia Pacific Agenda Project (APAP) | | | | |
| 種別 | 国連(事務局) | 国連(基金・計画) | 国連専門機関 | その他 | |
| 所管官庁担当局課名 | 外務省総合外交政策局政策企画室 | | | | |
| 最近3年間の我が国支払額及びODA率 | | | | | |
| 単位 | 邦貨 (千円) | 外貨1 (千ドル) | 外貨2 (千) | レート | ODA率(%) |
| 平成20年度 | 35,017 | | | 円建て | 100 |
| 平成19年度 | 36,100 | | | 円建て | 100 |
| 平成18年度 | 40,000 | | | 円建て | 100 |
| 当該拠出金の目的・用途等 | 会議開催経費、情報ネットワークの拡充、政策研究経費等 | | | | |
| 拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年のもの) | | | | 国際機関等の財政 (20年度決算) | |
| | 国名 | 金額 (千ドル) | 拠出率(注1) (%) | 当該年度の収入 | 35,017千円 |
| 1位 | 日本(注2) | | 100.0 | 当該年度の支出 | 35,017千円 |
| 2位 | | | | 次年度への繰越 | 0千円 |
| 3位 | | | | 会計検査機関名 | |
| 4位 | | | | 公認会計士及び 日本国際交流センター監事 | |
| 5位 | | | | | |
| 当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む) | | | | | |
| <p>アジア太平洋アジェンダ会議の提言、共同研究・対話プロジェクト等の報告書、欧州の研究機関との交流活動、情報ネットワークによる発信等は、アジア太平洋地域や欧州地域の研究機関を通じて、我が国の施策への理解促進に役立つ一方、我が国の政策判断に資するもので、相互理解・相互利益に寄与するものである。域内の各研究機関の研究成果を相互に共有することで、より効果的な研究活動が期待でき、研究者発掘・育成につながり、アジア太平洋地域のコミュニティの一体感を高めるとの当初の目的達成に寄与するものと評価。</p> | | | | | |
| <p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p> | | | | | |
| <p>更なる成果を得るための体制を築くため、参加研究機関以外の有力な研究機関、研究者等を探し、活動規模の拡大に向けた努力を行っている。</p> | | | | | |
| 邦人職員数(注3) うち幹部以上 | 9人 うち 1人 | 当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率 | 9人 100% | | |
| 邦人職員が占めている幹部ポスト | | | | | |
| ポストの名称 | | 職員氏名 | | 備考 | |
| 事務局長 | | 山本 正 | | (財)日本国際交流センター理事長 | |
| 当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画 | | | | | |
| <p>アジア太平洋知的交流促進計画運営委員会は、9ヶ国の研究機関で構成されているが、事務局は同委員会のメンバーである「(財)日本国際交流センター」内に設置されている。同センター職員が運営委員会の決定に基づく事務局としての計画執行・調整・報告業務を行っている。</p> | | | | | |

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(注2) APAPに参加している各国研究機関に対してAPAPのプロジェクト等、活動経費に出資している国はあるが、直接APAPに拠出しているのは日本のみ。

(注3) 事務局((財)日本国際交流センター内に設置)の職員数を指す。